

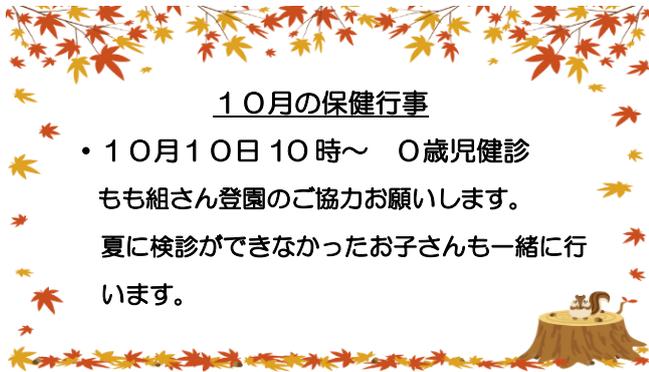
ほけんだより

令和6年10月1日発行

両国・なかよし保育園

看護師

さわやかな季節になりました。スポーツの秋、収穫の秋、食欲の秋……。楽しい経験を通して、子どもの体力もぐんと伸びる時期です。健康なからだをはぐくんでいきましょう。



10月の保健行事

- ・10月10日10時～ 0歳児健診
もも組さん登園のご協力をお願いします。
夏に検診ができなかったお子さんも一緒に
います。



小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

10月10日は
目の愛護デーです

赤ちゃんの目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力1.0）まで見えるようになります。見る力（視覚）はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同程度になります。成長するにつれてスマホやタブレット、テレビなどの視聴時間が長くなりがちです。特に「乳幼児」がテレビなどを長時間視聴することが、言語の発達や社会性の遅れにつながると報告されています。

【早く治療するほど回復しやすい！！】

見る力は、目から情報を取り入れ、脳で処理することを、毎日繰り返して育ちます。ところが、目に異常があると脳に情報が届かず、見る力が育ちません。早く治療を始めるほど回復しやすいため、見え方の異常に気づいたら早めに眼科で相談しましょう。

こんなサインに注意

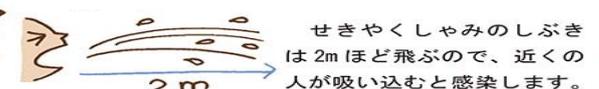


ウイルス、どうやってうつる？

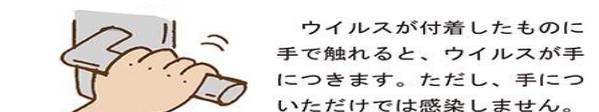
ウイルスは、感染している人のせきやくしゃみ、会話の際のしぶき（飛沫）と共に飛び散ります。また、唾液や鼻水の中にも多く存在しています。ウイルスを含むしぶきを吸い込んだり、ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすることで感染します。



① ウイルスを含むしぶきを吸い込む



② ウイルスがついた手で目や鼻、口を触る



ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染！

手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についていても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかり泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。